

2020年3月25日

2020年度 事業計画概要

特定非営利活動法人  
日本環境倶楽部

1. 事業環境と活動方針

2019年は、世界の多数地域で、熱帯暴風雨、洪水、熱波、干ばつ、森林火災など気象関連の災害によって、多くの地域で人道的コストが生じ、暮らしが破壊されました。気候変動は、自然環境が人類に対してその対応を問っている課題です。また海洋プラや資源循環についても世界全体で取り組んでいく課題です。

日本環境倶楽部は、地球環境へのこのような認識の下、会員皆様のご支援により、昨年にも増し、環境課題を中心とした社会課題の解決に資する、啓蒙、啓発、研究活動を推進してまいります。

尚、世界経済は、現在、新型コロナウイルスの感染拡大により大きな混乱渦にあり、日本経済も大きな打撃が予想されております。今次予算はこの影響及び対応を反映してはございませんが、事業運営にあたっては、機動的かつ柔軟に推進してまいります。

2. 個別事業の取組み

- ・気候変動、エネルギー、資源循環、環境政策及びSDGs等をテーマとしたセミナー、講演会を定期的を実施してまいります。開催にあたっては産官学より該当テーマのキーマンに講師をお願いするなど、時宜をとらえた内容とし、これまで以上に充実したものを目指します。
- ・個別テーマを深耕していく研究会を開催し、参加頂く各社様の事業戦略の参考や事業機会の探索の場を提供してまいります。
- ・見学会を開催し、三現主義の実践を通じ、経営や技術の向上・改善に資する、機会を提供します。
- ・会員及びその他の方々にこれらの活動に参画頂け事によりネットワーク拡大を目指します。

3. 予算の概要

(千円)

摘要	2020年度 予算(A)	2019年度 見込み(B)	差異 (A)-(B)	2018年度 実績	備考
経常収益	4,225	4,243	-18	4,009	
経常費用 (内事業費)	4,200 (3,435)	4,045 (3,292)	+155 (+143)	3,813 (3,041)	
経常収支	25	198	-173	196	
期末正味財産	2,032	2,007	+25	1,809	

詳細は別紙の活動予算書をご参照ください

-以上-

## 2020年度 活動予算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

特定非営利活動法人日本環境倶楽部

(単位:円)

科目	金額		
I. 経常収益			
1. 受取会費	4,176,000		
2. 受取寄附金	0		
3. 事業収益	49,000		
4. 雑収入	0		
経常収益計			4,225,000
II. 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費	828,080		
(2) その他経費			
交通費	63,040		
通信費	68,408		
地代・家賃	478,280		
消耗品費	37,744		
印刷費	192,600		
外注費	1,269,752		
レンタル・リース費	1,760		
講師謝金	342,540		
会議費	152,800		
その他経費計	2,606,924		
事業費計		3,435,004	
2. 管理費			
(1) 人件費	207,020		
(2) その他経費			
交通費	15,760		
通信費	17,102		
地代・家賃	119,570		
消耗品費	9,436		
印刷費	17,900		
外注費	283,288		
レンタル・リース費	440		
図書費	3,000		
会議費	38,200		
他団体会費	40,440		
租税公課	4,200		
雑費	8,640		
減価償却費	0		
その他経費計	557,976		
管理費計		764,996	
経常費用計			4,200,000
当期経常増減額			25,000
III. 経常外収益			
経常外収益計			0
IV. 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			25,000
法人税、住民税及び事業税			0
前期繰越正味財産額			2,007,167
次期繰り越正味財産額			2,032,167

(注) 前期繰越正味財産額は本予算書策定時の見込です